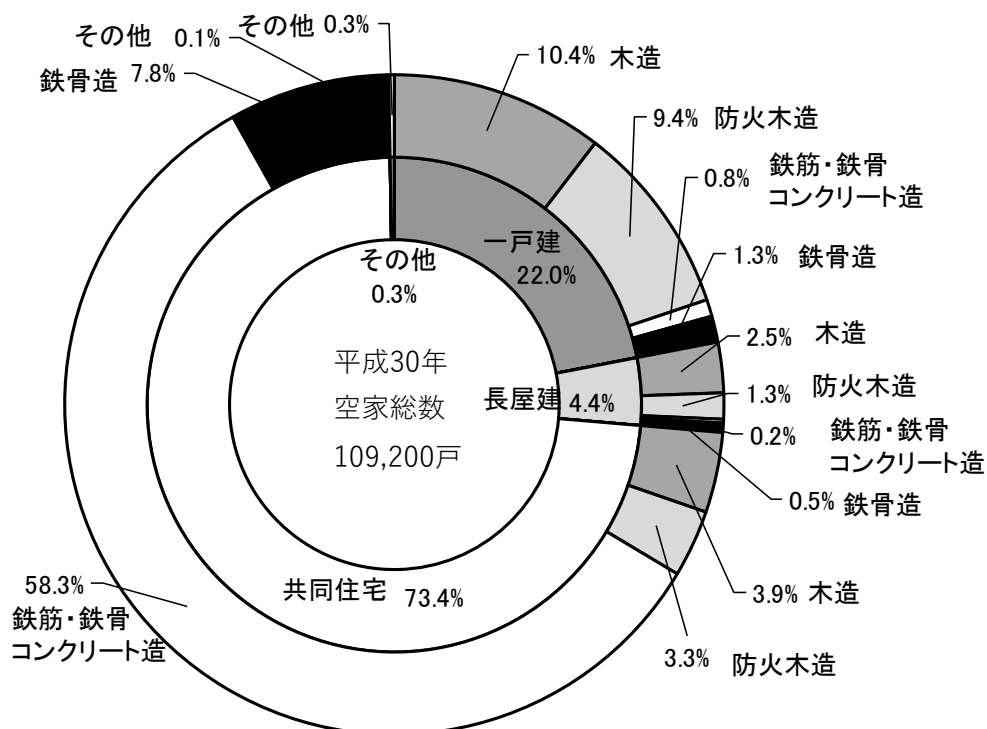


7. 空家に関する重点分析

(1) 空家に関する基礎情報（住宅・土地統計調査）

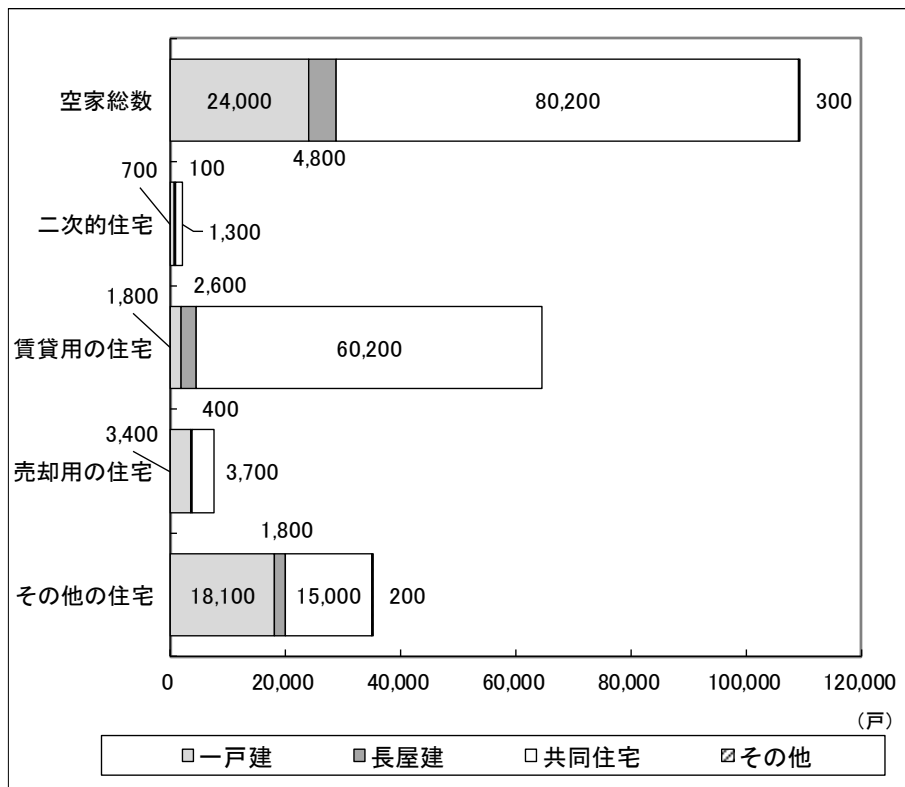
① 建て方、構造

- ・空家の建て方、構造については、共同住宅の割合が73.4%と最も高く、次いで一戸建が22.0%となっている。
- ・構造についてみると、鉄筋・鉄骨コンクリート造の共同住宅が空家全体の58.3%を占める等、非木造の共同住宅が過半を占めている。



図表-170 空家の建て方、構造

- ・空家の建て方、種類別の戸数についてみると、賃貸用の住宅及び売却用の住宅では共同住宅の割合が大きいのに対して、その他の住宅では一戸建の割合が大きくなっている。



図表-171 空家の建て方、種類別戸数

② 立地環境

- ・空家の敷地が接している道路の状況を見ると、「敷地が道路に接していない」「幅員2m未満」「2～4m未満」の合計が33.9%であり、神戸市合計（28.1%）と比較して接道の状況はやや悪いといえる。

	敷地が道路に接していない	幅員2m未満	2～4m未満	4～6m未満	6～10m未満	10m以上	総数
住宅総数	6,300	34,500	158,100	246,500	148,600	113,600	707,600
(%)	0.9%	4.9%	22.3%	34.8%	21.0%	16.1%	100.0%
空家	1,800	8,200	27,100	35,300	22,100	14,700	109,200
(%)	1.6%	7.5%	24.8%	32.3%	20.2%	13.5%	100.0%

図表-172 空家の敷地が接している道路の状況